

変革のための

リーダーシップ養成

野村 春美 (神戸 YWCA 会員)

日本 YWCA は第 33 総会期に入り、YWCA の目的「キリスト教の基盤に立ち、女性と青少年の力を育て、すべての人びとにとっての正義・平和・人間の尊厳・自由・持続可能な環境を実現する」を担う会員・職員の「変革のためのリーダーシップ養成」を行うために、理事会に「人材養成部会」を設置しました。そして、2021 年度は、1. 変革のための女性と少女のリーダーシップ養成事業、と、2. 各地域 YWCA の活動および組織運営に関わる人のリーダーシップ養成、にわかれ、活動してきました。

私はグループ 2 の委員として関わってきましたが、自身が学ぶ機会でもありました。

研修は、各運営委員・理事の経験や経験から学んだこと、得たこと、困ったことなどの分かち合いから始まりました。次に、「会議 25 のチェックシート」(株式会社ひとまち)を使って、各地域 YWCA の運営委員会・理事会の会議運営の現状を共有しました。その中で、「運営委員会の時間が長すぎる」「運営委員の負担が大きすぎる」「活動の計画、運営するだけで精一杯」ひいては「運営委員の担い手がない」「会員・ユースが増えない」などが共通した課題として浮かび上がり、その課題の改善すべき点と方法について話し合いました。報告をまとめておき時間短縮を心がける、タイムスケジュールをアジェンダに書き時間厳守する、などといったことが挙げられました。

2 年目は、川北秀人さん (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者) を講師に迎え、私たちが挙げた課題や改善点についてアドバイスをいただきました。例えば、時間配分を考えたアジェンダづくりでは、決めなければならない議事にいくら使うといった「時間予算」を考える、前もって議題の賛否とその理由を聞いておき、会議

ではそれを踏まえた話し合いをするなど、時間を有効的に使うための指摘は新鮮でした。また、現代では多くの女性が仕事を持っていること、自分の意見を SNS などで積極的に発信する若者がいる一方で、仲間がいないと活動の輪には入らない若者たちもいることなど、女性やユースを取り巻く社会の変化に合った活動を考えることが、「なぜ YWCA で活動するのか」という問いに私たちが答える手がかりとなるのではと思いました。他にも、年間計画だけでなく、中長期の視点をもって活動を考えることなど、具体的に他団体の例を挙げ示唆に富んだアドバイスをいただきました。

教育者の林竹二は、著書『学ぶということ』の中で「学ぶとは、いつでも、何かがはじまることで、終わることのない過程に一步踏みこむことである。一片の知識が学習の成果であるならば、それは何も学ばないでしまったことではないか。学んだことの証しは、ただ一つで、何かが変わることである」と言いました。この研修が知識に留まるのではなく、私たちが変わっていく足がかりになればと願います。

神戸YWCA つどい場

「神戸YWCA つどい場」は、「総合サポートセンター」における神戸YWCAの地域福祉事業のひとつです。坂口通の分室から二宮町の本館に拠点を移してからは、保育園やまごの手の介護事業と連携し、活動しています。

「つどい場」は、誰もが住み慣れた地域で自分らしく心豊かに暮らしていくための大切な場所です。神戸YWCAでは、工夫を凝らしたプログラムが用意されているものや、あえてプログラムを作らないで、誰でも気軽に参加できるもの、対象も子どもから高齢者までバラエティーに富み、現在4つのグループが活動しています。



カフェもぐもぐ

「若年性認知症の人と仲間たちの集いカフェもぐもぐ」は、昼食をみんなで作ってみんなで食べることをメインに、当事者の思いを大切にしながら、当事者本人や家族、支える仲間たちが、ほっとしてつながれる場をつくっています。

ちゃいやあらんど

「ちゃいやあらんど」は、子育て中の家族支援、子どもをもつ母親の仲間づくりやリラックスできる場所づくりの支援をめざしています。講師を迎えて布のおもちゃをつくる催し「ぬいぬいの会」も開催。

本館で活動を始めてからはや10カ月が過ぎました。それぞれのプログラムでは、新たな環境や人々との出会いの中でどう活動を進めていくか、模索が続いています。

(塩見 洋子)

わいわいデイルーム

神戸市の委託事業で介護予防を目的とした「わいわいデイルーム」では、フレイル予防のために、介護予防講座や運動・音楽・手工芸などのレクリエーションと、栄養バランスの取れた昼食を提供しています。ご自分で通って来られる方が対象で、現在70～90代の方が利用されています。ぜひお近くのおんしんすこやかセンターでお申し込みください。見学・体験も大歓迎です。



木曜カフェ

神戸YWCAの交流スペース「木曜カフェ」は、懐かしい音楽のレコードやCD、時にはピアノの生演奏が流れるカフェ。仕事の合間にコーヒーを飲みながらホッと一息する方、おしゃべりを楽しむ方など、みなさん思い思いの時間を過ごされています。これからは、もっと地域の方たちに来ていただける場にしたい、と企画を練っています。



まごの手ヘルパー徒然記

新しい年が始まった。まごの手は昨年、25年の節目を迎えた。私は入職して5年程で、長い歴史の後ろのほうにしかいないが、登録ヘルパーは長く勤めてくれている方が多く、中には20年の方もいる。

日々忙しく、5年はあっという間に過ぎていったが、振り返ってみれば、利用者・ヘルパーともに身体状況や生活環境が変化していき、顔ぶれが少しずつ変わっている。ヘル

パーも、病気にかかったり、家族の介護や育児があったりと、いくつものことを抱え乗り越えてきた。それでも10数年の間、暑さ寒さの中を日々移動しながら仕事を続けてくれているのは、利用者の生活にヘルパーが欠かせない存在であることがわかり、それに応え続けようとして



くれているからだと思っている。

団塊世代の多くが後期高齢者になるという、2025年まであと2年。新規の利用依頼は、連日のようにやってくる。しかし、まごの手でも、70代にさしかかるヘルパーの方が増え、新しい仕事は引き受けられなくなっている。自分の家で、自分の力で、自分なりにできるところまで暮らし続けたいという利用者の願いを叶えられるよう、ヘルパーに限らず少しでも多くの方々の助けが必要だ。

(まごの手職員・藤井 かえ子)

アナログゲーム大会



1月7日(土)、こどもいいんかいプロジェクトでアナログゲーム大会を開催しました。こどもいいんかいでは人との距離を縮めるツールとして、同世代の仲間を増やすだけでな

く、異なる世代交流のためにも使っています。

今回は子どもが最初から意見を出し合い、日程決めや受付の手順、ルール決め、ポスターづくり、備品を考えるなど準備してきました。子どもに人気なのは、「57577」という、5文字と7文字のカードを組み合わせる思い思いの短歌をつくり、できたものをみんなで投票し合うゲームです。

牛乳パックで綿棒を飛ばす「的当て」など、おとなの参加者がつくったおもちゃも加わり、大人も子どもと一緒に過ごした楽しい時間でした。(木村 文子)

ストーリーテリング研究会



子どもと本を繋ぐかけ橋になるろうという思いを持った人が神戸YWCAストーリーテラー養成講座に集い、その修了生有志が研究会を立ち上げました。

今年で20周年を迎えた大月ルリ子先生の研究会は学びがますます深まり、芦田悦子先生の研究会もまだかけだしですが、活発に学んでいます。メンバーは図書館、小学校、児童館などで子どもたちとお話を楽しみながらストーリーテラーとして活動しています。

20年前にYWCAで撒かれた種は確実に芽を出し、花を咲かせ、実を結んでいることに喜びを感じ、これからも歩み続けていきます。(西野 京子)

神戸YWCA クリスマス



神戸YWCAクリスマスの集いが12月3日(土)、神戸YWCA会館5階チャペルで催された。「祈りのろうそくでつながろう」の

テーマのもと、神戸東部教会の古澤百代牧師よりメッセージをいただいた。礼拝では、皆の祈りをつなごうと、神戸YWCAのそれぞれの活動から出てきた願い、希望をリタニー(連祷)でつなぐことができた。

会館での開催が3年ぶりとなった今年は、クリスマスマーケットやお茶の時間もあり、久しぶりに和やかな親睦の時となった。参加者19人。(宮田 泰子)

ガレージセール!

12月10日(土)、冬のガレージセールを開催した。今回は委員会やグループの出店もあり、クリスマス前の時期に合わせ手づくりのリースやお菓子、

雑貨なども販売し、来場された皆さんに楽しんでいただけた。寒さの中、5階の木曜カフェとファンドのホットはちみつレモンが人気だった。売上目標の10万円を達成できた。

(秋月 啓子)



ガレージセールのようす

「見ざる」「聞かざる」「言わざる」は撤廃しませんか?
アンテナを高くあげ物ごとをよく見て、人の話に耳をかたむけ学び、自分でよく考え、発言しなければいけないことは言う強さ。「ジェンダー」を論ずる前に必要なことだと思えます。
私が大阪YWCAの会員になったのは1956年でした(後に神戸YWCAに転籍、会員歴は68年?)。仲間のいるYWCAは大好きです。よい年を作ってまいりますね。

(郡あや子)



神戸YWCA
Aも一世紀の歴史を歩み、新しい

世紀が始まっています。

時代が変わり社会が変化して行く中で、YWCAのめざす「共に生きる」愛の精神は同じです。

しかし今、地球は世界規模で流動していると思います。資源もなく貧しい日本は今後どの様に生き残っていけるのでしょうか。国家予算を上回る防衛予算、少子化問題、よく話し合いもせず無責任に決めていく国家、それに対して無関心な国民。このような社会を作った国家、それを支持する国民。徳川の封建時代の諺を美德としている人々。

神戸YWCAへの おさそい

●わいわいデイルーム 会館

(神戸市地域拠点型一般介護予防事業)
毎週火曜日、10時～15時

●カフェもぐもぐ その他

若年性認知症の人と仲間たちのつどい
2023年3月4日(土)、4月1日(土)
10時30分～15時

場所 日本基督教団神戸聖愛教会

参加費 800円(食事付)

要予約、詳細はお問い合わせください。

●木曜カフェ

第2・4木曜日、13時30分～15時30分
レコードで懐かしい音楽を聴きながら
ほっこりしませんか?
(1ドリンク100円～)

*予定は変更されることがありますので、ホームページ等で最新情報をご確認ください。

●「日本は外国人とどう生きているの? オンライン

技能実習制度を知っていますか」

世界・社会委員会オンライン講座

3月21日(火・祝) 16～18時

齊藤 善久さん(神戸大学大学院国際協力研究科准教授)

開催方法: オンライン (Zoom)

参加費 一般1,000円、学生無料

申し込み → <https://forms.gle/FPveZdTsixunP7B69>



世界祈禱日 2023

日時 3月3日(金) 13:30～15:00

主題「台湾からのメッセージ～あなたがたの信仰について聞いています」

場所 日本基督教団神戸聖愛教会

* YouTube 配信もあります

<https://youtu.be/A8ZfzuW6C8c>



■ 学院だより

今年度は3組の宣教師家族が日本語レッスンを受講した。聖書で使われる日本語など、神戸YWCA学院ならではの授業内容が好評だ。1歳の子どもをもつ受講生夫妻は、保育園の一時保育を利用してくださっている。

今後も内部の連携を活かし、学びを支えたい。

(学院長・西本 玲子)

■ 保育園だより

3月には、ことばをしっかりと覚え、やり取りをし始めた2歳児の子どもたち7人が巣立ちます。

今年度の後半は国の異なる子どもたちが仲間入りし、カラフルでにぎやかな保育園になりました。こちらでは英語を使い、あちらからは日本語が聞こえてくるという日常です。子どもたちの間では、お友だちの登園がいつもより遅いと心配するやさしさも育ってきました。

このようなYWCAらしさをこれからも特色として生かしていきたいと思っています。

(梅川 玲子)

■ まごの手だより

「居宅介護支援」は、現在60件(うち予防13件)のケアマネジメントを実施。「訪問介護」は利用者数延べ150人。居宅も訪問も増加傾向が続いている。ニーズの高まりに応えるため、安定した組織運営を目指して、主任ケアマネジャーと常勤ヘルパーを募集している。

「生活支援わいわい」のメンバー登録数は24人。12月1日～1月15日に8件の利用があった。

「居住支援」は、11月20日～1月15日、新たに5人から入居前相談を受けた。1月16日現在、支援継続5人。入居実績は1件。入居中の支援も行っている。

(所長・寺内 真子)

■ 運営委員会報告

12月10日、第10回運営委員会開催(ハイブリッド)、出席7人。【報告】●日本YWCA●理事会●指名委員会●会員活動【議事】●進捗報告会の振り返り・運営委員会

からの提案内容の修正●2022年度活動報告・2023年度活動計画案について検討●理事会提案の2023年度予算配分の確認

12月26日、第11回臨時運営委員会開催(ハイブリッド)、出席4人。【報告】●日本YWCA【議事】●定期会員集会での提案内容●2023年度神戸YWCA活動目標

1月14日、第12回運営委員会開催(対面)、出席6人。【報告】日本YWCA●進捗報告会のグループへの報告●指名委員会●会員活動●市営HAT神戸・灘の浜住宅見学【議事】●定期会員集会での提案

会費納入のお願い

2022年度(2022年4月～2023年3月)の会費・会費の納入をお願いいたします。2021年度の会費が未納の方は、併せてお納めください。

*特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。

内容と議案説明会の実施決定

●2022年度活動報告・2023年度活動計画と予算案●2023年度神戸YWCA活動目標の決定●日本YWCA主催「バーチャルde地域YWCA訪問」の進め方 (書記・福田 百)

■ 理事会報告

12月17日(土)第7回理事会。出席理事7人、監事2人。神戸市「市営住宅コミュニティ活性化事業」の事業者として選定され、HAT神戸・灘の浜住宅集会所を活用する旨の報告がなされ承認した。2023年度予算案等を検討。

1月21日(土)第8回理事会。出席理事7人、監事2人。「市営住宅コミュニティ活性化事業」進捗報告。2023年度予算案を検討。(総幹事・西本玲子)

■ 賛助員

川島 恵美 (敬称略)

■ 編集後記

4月からHAT神戸・灘の浜で新しい活動がスタート。いただいたチャンスに感謝。夢が、希望が広がる。(S・I)

第103回神戸YWCA 定期会員集会

【プログラム】

1 理事会報告

2 議事

- (1) 2022年度活動報告・会計報告
- (2) 神戸YWCAビジョン、ミッション、目標、組織図の変更、グループ活動規程作成など
- (3) 2023年度活動計画案・予算案
- (4) 運営委員・指名委員選出

3月11日(土) 10:00～12:30
神戸YWCA 会館5階

【事前議案説明会】

2月25日(土)
11:00～12:30
神戸YWCA 会館

*日本YWCA「バーチャルde神戸YWCA訪問」は10:30～

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町2丁目13-2

URL: <http://sanosousai.com>